

# 上宮寺通信

第四十二号

## サクラサク

新型コロナウイルスのオミクロン株による感染拡大が続いています。なかでもヒヤヒヤしているのが受験生を持つご家庭ではないでしょうか。体調を万全にして、これまでの努力が存分に発揮できることを願わずにはおれません。

そして、どの受験生にも「サクサク」の吉報が来るといいのですが、現実には合格する人もいれば不合格になる人もいます。

ある先生のところへひとりの受験生が進路について相談に行きました。

「一番行きたい大学には合格

できませんでした。でも、第二

志望の大学には合格することができませんでした。浪人すべきか、第二志望の大学に行くべきか、迷っています」。

先生は親身になって相談にのると思いきや、「サイコロを用意してください。偶数が出たら浪人して第一志望の大学を目指します。奇数が出たら第二志望の大学へ進学する。ただし、サイコロは一回だけふること」と答えられたのです。

受験生はびっくりして、「相談して損した!」と部屋から飛び出して行ってしまった…。

後日、その受験生が、なぜ先生があんな答え方をしたのかが気になって真意を尋ねると、先生いわく

「サイコロの目は仏様のはた

らきです」。

もし第一志望の大学に進めたとしても、その大学で有意義な学生生活を送れるという保証は誰もできない。反対に第二志望の大学に行ったほうが有意義な生活を送ることができるかもしれない。そのことは誰にもわからない。だからこそ、仏様にお聞きするしかない。それがサイコロの目だといわれるのです。

ただし、一回だけというのも重要。二回も三回もとなると迷いが出てきますし、私のはからいも入ってきます。

サイコロの目というのは少し乱暴な気がしますが、その先生が言わんとすることはどちらの道を選ぼうとも、その道に進んだ意味は必ずあるということだ

す。

浪人を選ぶなら浪人を選んだことで、きつと得られるものがある。第二志望の大学に進んだとしても、そこで学ぶことは必ずある。人生において無意味であるというものは何ひとつないのだということを仏様は教えられているのです。

つまり、人生においてはすべてが「サクサク」なのです。



◆行事案内

上宮寺の行事

3月8日(火)

春のお彼岸・永代経法要

時間：午前10時～

法要 引き続き 法話

(正午頃終了予定)

法話：林 祥真師(一宮市禮讃寺)

※ご参詣の際はマスクの着用をお願いいたします。

※午後の法要、お斎、呈茶はございません。

※軽食を用意いたします。

※緊急事態宣言の発出など感染状況が悪化した場合は、内勤め(参詣者なし)の法要にさせていただきます。

◆話題あれこれ

○年末からの寒波で寒い年明けとなりましたが、元旦の修正会にはたくさんの方にお参りをいただき、ありがとうございました。

○オミクロン株による感染拡大をうけて、愛知県には「まん延防止等重点措置」が出ていますが、事態の好転を信じて、3月8日に「春のお彼岸・永代経法要」をおつとめしますが、ぜひ皆様のご参詣をお待ちしております。



○本堂の前の日よけ(雨よけ)シートを新しくしました。経年劣化で破れも目立ち、かなり汚くなっていました。新品にしたことよって本堂全体がきれいになった感じがします。



このシートです

○この冬は寒い日が多いです。体調には十分お気をつけください。

【雑感】

お正月頃から左耳にエアコンの室外機の音のような耳鳴りが聞こえ、会話の声やテレビの音がこもったような感じになりました。耳鼻科で診察してもらったところ「低音障害型感音難聴」との診断。早期の治療が大切とのことと点滴を受け、薬をもらいました。おかげでかなり回復したのですが、まだなんとなく違和感があります。原因不明で再発もしやすいとのこと、年明け早々やっかいな病気になってしまいました…。皆様も健康には充分お気をつけください。(住職記)

【発行】

真宗大谷派

上宮寺

昭和三十九年一丁目十九番十五号

☎052-871-0547